

## 2023(令和5)年度 社会福祉法人札幌会 事業報告

令和5年度における社会福祉法人札幌会の事業運営及び会務の運営について、次のとおり報告いたします。

3年間近くにわたり法人の各事業において、自粛・制限を余儀なくされてきた新型コロナウイルス感染症も、5月からの5類感染症へと移行となりました。しかし、一気にコロナ禍前に戻ることなく、日々の感染対策は継続しつつも、施設・事業所の利用者の皆様のニーズを踏まえ、暮らしの場や日中活動の場において、選択肢の幅を拡げ、行事や多様な活動にも笑顔あふれる、楽しみが持てる内容による活動提供をした一年となりました。

設備整備では、3ヶ年計画によるグループホームの各居室にエアコンを設置する事業も、2年目となり5ヶ所のグループホーム（ピース・さくら・アカシア・陽だまり・あぶる48部屋）に計画どおりエアコンを設置し、暮らしの環境の改善に努めました。

福祉現場での人材不足は深刻で、職員の配置が難しくなったことにより地方の施設では定員減に踏み切るという話を聞く機会も増えました。法人では、人材の確保のため、積極的な採用活動と多様な求人媒体を活用しながら、事業の継続性を図るため、新規学卒者の採用と中途採用者の確保により、職員体制の維持に努めました。

また、日々の支援の質の向上を図るため、職員が個々の時間にeラーニングを活用し、「障がい福祉」「自閉症」「強度行動障がい」など、日々の支援に必要なスキルアップの習得に努めました。

昨年度も道内の施設・事業所では、毎月のように虐待事案が発生しました。法人では、全体での虐待防止委員会を法人の第三者委員も参加して年に2回開催し、施設・事業所での権利擁護推進の取組み状況と振り返りを行い、利用者の皆様の一層の権利擁護の推進に努めました。

法人設立以来、同心円的に広がってきた組織のガバナンスの強化と社会福祉法人としてのコンプライアンスの徹底を図るため、組織の点検と検証を行いました。昨年8月には、グループホームの入居者の体調不良に対して、迅速かつ適切な対応が取れなかったことへの反省として、新年度に向けて、施設・事業所の管理者がグループホームの管理者を兼務している職員体制の見直しを行い、複数のグループホームを支えている地域支援センターに専任の管理者を配置し、日々の出来事や課題に対して速やかに対応できる職員体制の確立を図りました。

次年度においても、それぞれの施設・事業所が一体感をもって事業を進めていけるよう法人本部機能の強化に努め、安定感のある健全な経営を目指します。

### 【会務の運営】

#### (1) 理事会の開催状況

第1回理事会（通算第226回）

①日 時 令和5年5月27日（土）午前10時～

- ②場 所 菊水ワークセンター 3F 会議室  
③審議事項 議案第1号 令和4年度事業報告について  
議案第2号 令和4年度決算報告について  
議案第3号 社会福祉充実計画の策定について  
議案第4号 新役員候補者(案)の選任について  
議案第5号 評議員候補者の推薦について  
議案第6号 就業規則等の一部改正について  
議案第7号 定款施行細則の制定について  
議案第8号 第114回評議員会の提出議案について

第2回理事会(通算第227回)

- ①日 時 令和5年6月17日(土)午後1時~  
②場 所 菊水ワークセンター 3F 会議室  
③審議事項 議案第1号 理事長の選定について  
議案第2号 業務執行理事の選定について  
議案第3号 給与規程の一部変更について  
議案第4号 人事考課制度要綱の改正について  
議案第5号 経理規程の一部変更について  
議案第6号 ライフサポートあんリーの事業再開について

第3回理事会(通算第228回)

- ①日 時 令和5年9月1日(金)午後5時~  
②場 所 菊水ワークセンター 3F 会議室  
③審議事項 議案第1号 ストレスチェック実施規程の制定について  
議案第2号 札幌市社会自立センター利用者就業規則及び  
賃金規程の改正について  
議案第3号 白石かがやき園生活介護事業の定員変更について

第4回理事会(通算第229回)

- ①日 時 令和5年9月14日(木)午後5時30分~  
②場 所 菊水ワークセンター 3F 会議室  
③審議事項 議案第1号 グループホーム「ピース」入居者のケガの発生原因  
の調査に係る第三者委員会への委任について

第5回理事会(通算第230回)

- ①日 時 令和5年12月8日(金)午後5時~  
②場 所 菊水ワークセンター 3F 会議室  
③審議事項 議案第1号 令和5年度補正予算(案)について  
議案第2号 就業規則の一部改正について  
議案第3号 感染症対策に関する指針(案)の制定について

## 第6回理事会（通算第231回）

- ①日 時 令和6年3月15日（金）午後5時～  
②場 所 菊水ワークセンター 3F 会議室  
③審議事項 議案第1号 令和5年度補正予算（案）について  
議案第2号 令和6年度事業計画（案）について  
議案第3号 令和6年度予算（案）について  
議案第4号 就業規則の一部改正について  
議案第5号 給与規程の一部改正について  
議案第6号 インターネットバンキング利用規程の制定について  
議案第7号 役員報酬規程の一部改正について  
議案第8号 役員賠償保険の更新について  
議案第9号 中型自動車免許限定解除取得経費貸与規程の制定  
について  
議案第10号 第115回評議員会の議案について  
議案第11号 令和6年度施設長・管理者の人事について

## （2）評議員会の開催状況

### 定時評議員会（通算第114回）

- ①日 時 令和5年6月17日（土）午前10時～  
②場 所 菊水ワークセンター 3F 会議室  
③審議事項 議案第1号 令和4年度事業報告について  
議案第2号 令和4年度決算承認について  
議案第3号 社会福祉充実計画の策定について  
議案第4号 新役員候補者の選任について

### 第2回評議員会（通算第115回）

- ①日 時 令和6年3月22日（金）午後5時～  
②場 所 ホテルポールスター札幌 4F ライラック  
③審議事項 議案第1号 令和5年度補正予算（案）について  
議案第2号 令和6年度事業計画（案）について  
議案第3号 令和6年度予算（案）について  
議案第4号 役員報酬規程の一部改正について

## （3）監事監査の実施

- 第1回目 令和5年 5月25日（令和4年度決算経理状況）  
第2回目 令和5年 8月24日（利用者預かり金の経理・管理状況）  
第3回目 令和5年11月17日（令和5年度上半期経理状況）  
第4回目 令和6年 2月22日（利用者預かり金の経理・管理状況）

#### (4) 養和監査法人による監査の実施

- 第1回目 令和5年 5月10日～5月12日 (決算処理の検証)
- 第2回目 令和5年 9月12日 (IT内部統制・預り金管理システムの検討 他)
- 第3回目 令和5年11月27日～11月28日 (固定資産管理・預り金管理 他)
- 第4回目 令和6年3月6日 (リース台帳の整理・車輛取得時の仕訳について 他)

#### (5) 札幌市の監査指導・実地指導

- 令和~~5~~年10月19日 札北荘・法人 /札幌市監査指導室
- 令和5年10月 5日 社会自立センター業務・財務検査(前期)/市障がい福祉課
- 令和6年 3月26日 社会自立センター業務・財務検査(後期)/市障がい福祉課

#### (6) 事業の経営

##### <障がい者支援施設の経営・第一種社会福祉事業>

- (1) 札北荘～施設入所支援/定員30名・生活介護/定員55名
- (2) つきがた友朋の丘～施設入所支援/定員40名・生活介護/定員60名

##### <障がい福祉サービス事業の経営>

- (1) ゆめいろ (生活介護) ～定員60名
- (2) ゆめくる (生活介護) ～定員40名
- (3) ゆめきた (生活介護) ～定員20名
- (4) 札幌市社会自立センター (就労継続支援A型) ～定員30名
- (5) 菊水ワークセンター (生活介護) ～定員40名  
(就労継続支援B型)～定員40名
- (6) 白石かがやき園 (生活介護) ～定員50名  
白石かがやき園/こもれび (就労継続支援B型) ～定員10名

##### <短期入所事業の経営・第二種社会福祉事業>

- (1) 札北荘～利用延日数 290日 (定員10名/日)
- (2) つきがた友朋の丘～利用延日数 15日 (定員4名/日)
- (3) 地域支援センターりら～利用延日数 188日 (定員5名/日)

##### <共同生活援助の経営>

- (1) 地域支援センターくれあ (3ホーム) ～定員30名
- (2) 地域支援センターうらら (3ホーム) ～定員25名
- (3) 地域支援センターのんの (2ホーム) ～定員20名
- (4) 地域支援センターほたる (2ホーム) ～定員13名
- (5) 地域支援センターすてら (2ホーム) ～定員20名

(6) 地域支援センターえがお (4ホーム) ~定員32名

<居宅介護事業所の経営>

(1) ライフサポートあんりー (居宅介護・行動援護・重度訪問介護)

<相談支援事業の経営>

(1) 相談室あいりす (特定相談支援・一般相談支援)

<有償運送事業の実施>

(1) ライフサポートあんりー 令和2年11月30日より休止中

<市町村事業の実施>

(1) 移動支援事業 ライフサポートあんりー 令和2年11月30日より休止中

(2) 日中一時支援事業 札北荘~利用延日数 31日

ゆめくる~利用延日数 56日

菊水ワークセンター 利用延日数 実績なし

白石かがやき園 利用延日数 実績なし

(7) 補助の受領

①物価高騰対策補助金

(1) 札北荘	1,961,000円
(2) ゆめいろ	972,000円
(3) ゆめくる	648,000円
(4) ゆめきた	324,000円
(5) 地域支援センターくれあ	1,032,000円
(6) 地域支援センターえがお	1,100,800円
(7) 地域支援センターすてら	688,000円
(8) つきがた友朋の丘	961,600円
(9) 地域支援センターほたる	285,200円
(10) 菊水ワークセンター	1,296,000円
(11) 地域支援センターのんの	688,000円
(12) 地域支援センターりら	217,000円
(13) 札幌市社会自立センター	216,000円
(14) 白石かがやき園	1,134,000円
(15) 地域支援センターうらら	410,000円
(16) ライフサポートあんりー	50,000円
法人合計	11,983,600円

②サービス継続支援事業補助金

(1) 札北荘	885,000円
(2) 地域支援センターくれあ	335,000円
(3) 地域支援センターえがお	97,000円
(4) 地域支援センターのんの	280,000円
(5) 地域支援センターうらら	4,000円
法人合計	1,601,000円

## 2023（令和5）年度事業報告 札北荘 （施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

利用者さまの安心・安全な暮らしを守り、一人ひとりの個性や誇りを大切にしたい支援を進めてまいりました。5月からは新型コロナウイルスが5類に移行となり、日中活動・行事・レクなど、外出を含めた企画を盛り込んだサービス提供を実施しました。外出が増えたこともあり、利用者さまと共に楽しめる瞬間や笑顔を共有し合える機会が増えたと実感しております。また、住環境にも重点をおき、ディールームの床張り替え、カーペットやカーテンの新調など、新しい風を吹き込むことができるように努めました。開設から38年が経過し、経年劣化も随所に見られてきている現状ではありますが、必要に応じた修繕や補修を行いながら進めることでは、利用者さまが困らない生活を最低限保障できたと考えております。感染症においては、12月のクリスマス会、年末の帰省を控えていた時期にコロナのクラスターが発生し、利用者さまには再び制限を強いられる生活を願いたくはない状況となりました。今後も感染対策の継続から利用者さまの健康管理に注意してします。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

〈施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援〉

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	34	29	1.0	2.8		32.8	28.9	
看護職員	1			0.5		0.5	0.1	
医師	1			0.1		0.1	0.1	
管理栄養士	1	1.0				1.0	1.0	
重度支援員	2		1.0			1.0	0.5	

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

〈施設入所支援・生活介護〉

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者					2	21	32	55
利用者延数					797	4,819	8,520	平均 52.4

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者数

3名（JM氏・RS氏・YK氏）

#### (2) 契約解除者数

3名（EK氏・MT氏・YO氏）

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 利用者さまの住環境の向上

居住空間の整備として、男子棟のディールーム2ヶ所と女子棟ディールームのカーペット張替えを実施。利用者様の意見も取り入れ材質や色選びを行っている。張替えにより、雰囲気も明るくなり、利用者様にも好評であった。また、廊下の補修、居室及び共用部に空いていた壁の穴も一斉に補修を実施。利用者様にとっての「暮らしの場」として相応しいか、常に確認をしながら改善に向けた取組みを進めている。建物の老朽化などで大規模な修繕等を要する箇所も多いが、安心・安全に暮らすことができる環境保全に引き続き努めていく。

#### (2) 日中活動の充実化

男性班・女性班・あとむ班の3編成で日中活動を実施。コロナの緩和もあり、屋外での活動や園芸活動も再開。利用者さまも屋外活動を楽しまれていた。また、春にさとらんどを会場とした外出活動も実施。

(3) 支援体制の構築

日中活動及びQOL向上を目指し、支援体制を再構築、組織図の見直しを図り、担当責任者を明確にしたなかで実効性に結び付ける取り組みを実施。リーダーが主体となり現場をまとめていきながら、事業所として一体の取り組みを目指してきた。この積み重ねから業務効率・実効性・生産性の向上に結び付ける。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

(1) 権利擁護・虐待防止（小）委員会/身体拘束適正化委員会（毎月開催）

毎月開催し、記録の集計より虐待に繋がる事案を確認。身体拘束が3要件に沿って適切に対応されたか確認し廃止に向けた検討を継続。8/5 権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化研修会を実施。

(2) 感染症対策委員会

6が月に1回会議を実施。研修計画・コロナやインフルエンザを含めた感染症対策と対応を確認。10/20 嘔吐処理感染症対策研修会を実施。

(3) 安全管理委員会（毎月開催）

毎月開催。入所会議日の午後に実施。ヒヤリハット、事故報告の集計、分析、対策を検討していく。会議内容は入所会議にて報告、過去のヒヤリハット、事故報告に対してどのような経過を辿っているかについて随時確認を行っている。

(4) 入所会議/リーダー会議（毎月開催）・個別支援会議（随時）

あとむ班は第4週目に定期開催。入所利用者様については、個別に随時開催とし、個別のニーズに即した形での個別支援会議を実施している。

(5) 研修参加

①外部研修

- 北海道知的障がい関係支援員研修1名
- 北海道強度行動障害支援員養成研修1名・行動援護養成研修2名
- 障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座1名
- 災害対策研修会1名
- 施設長・管理者権利擁護特別研修1名
- 全道知的障がい関係職員研究大会1名
- 利用者研修会実施のための職員研修会1名
- サービス管理責任者研修（基礎）2名、（更新）2名
- 配信相談支援従事者研修2名
- 幹部職員研修会1名
- 配信 特定給食施設研修会1名（栄養士）
- 意思決定支援研修会1名
- 応急手当講習24名

②内部研修

- エルダー研修2名
- 新任職員研修会4名
- 中堅職員研修会2名
- メンター研修会2名
- サビ管交流研修会1名
- 新入職員フォローアップ研修会Ⅰ4名
- 中堅職員Ⅱステップアップ研修会2名
- 中堅職員Ⅰフォローアップ研修会1名
- 新入職員フォローアップ研修会3名



## 2023（令和5）年度事業報告 地域支援センター うらら （共同生活援助）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

利用者さまやご家族の意向を踏まえ、一人ひとりに応じた地域生活ができるよう相談室とも連携し進めてまいりました。5月からは新型コロナウイルスが5類感染症移行となり、個々の利用者さまの外出も含めサービス選択肢の幅を上げられるよう進めました。外出においては、ヘルパー等の社会資源も活用しサービス提供を行ったことで利用者さまの地域外出の機会が増え、生活の中での楽しみや楽しさへとつなげることができました。また GH 内のコロナ感染が発生した時や年度途中の職員退職及び入院が重なった時などの期間があり、超過勤務にて対応せざるを得ない時期がありました。バックアップ施設（札北荘）や法人内事業所との連携や協力等により、職員体制が厳しい中でも利用者さまの支援が滞ることなく実施いたしております。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

〈共同生活援助〉

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	10	1.0		5.0		6.0	5.7	
世話人	9			5.9		5.9	5.9	
夜間支援従事者	10			2.5		2.5		
看護職員	1			0.1		0.1	0.1	

※地域支援センターうららとライフサポートあんりー兼務職員2名在籍（常勤換算：各0.2 計0.4）

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

〈共同生活援助〉

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者	2		0.5 (1)	0.5 (1)	3	11	8	25
利用者延数	732		183	183	1,071	3,835	2,739	平均 23.9

※利用者さま1名、年度途中区分2から区分3に変更。

### 4. 利用者の入退所状況

- (1) 新規契約者数 1名（YK氏）
- (2) 契約解除者数 1名（EK氏）

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 「社会参加」を意識した支援の充実

BBQ・紅葉狩り・初詣と季節行事を実施。地域祭りについては参加予定であったが悪天候のため祭りが中止となっている。個別外出ではご利用者と支援者で外出計画を考え、公共交通機関の利用方法や安全確認等の社会スキルの向上を支援している。

#### (2) 「虐待防止・権利擁護」の更なる意識向上を図る。

虐待防止(小)委員会を設置し、事業所全体で利用者の「権利保障」について、毎月の定例会議の中で状況確認と啓発を行っている。また、職員を対象としたセルフチェック結果の考察を行い、職場内環境の見直しに繋げている。

#### (3) 生活環境の整備

リビングでご利用者同士や支援者との関わりを楽しみとされる方もいるが、生活習慣の違いや障がい特性が起因する行動によりトラブルに発展することがある。個別支援と居室変えによる環境調整を行うことで軽減しているが、人が集まるリビングにおいては常に支援者の見守りと適時の介入を必要とする。

(4) 通所事業所との連携

利用者さまが利用する通所事業所との情報共有を徹底し、利用者の心身の変化に対しては適時の支援内容の検討及び、必要な医療機関の受診を行えている。また、支援者の入院や退職による人員が不足した際は、超過勤務が発生することにはなっているが、応援を受けることでサービス体制を維持することができている。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

(1) 権利擁護・虐待防止委員会(年12回実施 当年度該当件数 0件)

- サビ管、管理者にて職員個別面談実施 (課題やストレス等の確認)
- 8月と1月の2回、障がい者虐待防止 職員セルフチェック実施
- 11月に1回、職員ストレスチェックを実施
- eラーニングによる個別学習の推進

(2) 身体拘束適正化委員会(年12回実施 身体拘束を必要としたケース3件)

- ①排便が滞った時の対応について
- ②突発行動及び粗暴行為への対応について
- ③支援拒否及び粗暴行為への対応について

○1年間で身体拘束記録が無い場合は同意書を更新していないが、他者への粗暴行為があった方については身体拘束に至る可能性があるため同意書を更新している。

(3) 苦情解決委員会(年12回実施 当年度該当件数1件)

毎月の事業所会議において、利用者のご家族から要望や意見などを確認。

○利用者様から職員の返答が遅いことからの意見をいただく。謝罪・再発防止から同意得る

(4) ホーム会議・個別支援会議・うらら会議(年12回実施)

(5) 感染症対策/保健委員会(年2回実施、内部研修と訓練を年1回実施)

(6) 研修参加

①外部研修(資格研修含)

- サービス管理責任者研修(基礎)2名
- サービス管理責任者研修(実践)1名
- 救急法セミナー1名
- 障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座1名
- 幹部職員研修会1名
- グループホーム等スタッフ研修会1名
- 応急手当講習11名

②内部研修

- 新任職員研修会1名
- 中堅職員研修会1名
- メンター研修会1名
- サビ管交流研修会1名
- 食事提供・喉詰まり対応(事業所内伝達研修)
- 虐待防止研修(事業所内伝達研修)

## 2023（令和5）年度事業報告 ゆめいろ

（生活介護）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

令和5年度は活動の場を外へと向けて行って来ました。日中活動では、公園への散歩やドライブ、農作物を作ることなど、行事は外部を呼ぶことは出来ませんでした。外で楽しく過ごせる内容を盛り込んで開催しています。感染症を完全に防ぐことは出来ませんが、窮屈な生活から解放された活動展開が出来たと考えています。また、個別支援を展開していく中で外活動の幅が広がったこと、編成を変えたことで支援力の向上とスキルアップが出来たと考えます。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜生活介護＞

職 種	人数	常 勤		非 常 勤		常勤 換算	配置 基準	備 考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1		0.4			0.4	1	えがお・あんりー兼務
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1	
生活支援員	23	21.0		1.8		22.8	22	
看護職員	1					0.2		
重度支援	1		0.5			0.5		

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜生活介護＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者	0	0	0	2	6	18	33	59
利用者延数	0	0	0	510	1,263	4,324	7,473	平均 50.5

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者数

2/1 SH氏

#### (2) 契約解除者数

9/16 MU氏（ノテ福祉会 GHなかも平岸入居）

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 支援力の向上及び支援者のスキルアップ

根拠を持った説明の出来る支援を年度当初より説明し、日々の気づきを昨年度から継続したこともあって個々の安定に繋がったと考える。また、毎月の研修・エリア会議を通して個別支援への意識向上と支援スキルを振り返ることも、職員個々の意識定着に繋がり特に若い職員は大きな影響があったと考える。

#### (2) 委員会・係業務の機能的な運営

リーダー会議で委員会・係の報告と予定を毎月検討し、職員会議にて全体への報告をしていくことで連携の強化が成されたと考える。内部研修では現場の実態にあった研修や、eラーニングを取り入れたことで内容の幅も広がり、外部研修に出なくとも空き時間に研修を受講することが出来たこともスキルアップに繋がったと言える。

#### (3) 事業所内・外環境整備

毎月各エリアから施設内点検報告を上げて貰い、役職者にて確認を行い修繕に当たっている。これ以外にも急な修繕に関してはエリアリーダーからの報告にて業者への依頼・早期修繕を行っている。外環境整備も計画的に除草、剪定を行い環境美化に努める。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

### (1) 権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会

毎月開催し身体拘束撤廃の検討も行っていく。下半期には身体拘束の件数をまとめ昨年度との比較検討を話し合っている。セルフチェックは年2回実施し、集計・考察を全体へ報告。

### (2) 感染症対策委員会

飛沫防止パーテーションの撤去時期を検討し、徐々に撤去を行って行く。また、研修係と保健衛生係の連携にて感染症の訓練を行っている。消毒薬の作り方、嘔吐物の処理の仕方を実践形式も含めて行って行く。

### (3) 安全衛生委員会

ヒヤリハット・事故報告の集計と考察を行っている。事が起きた時には日々、各班で対策を検討し夕礼での報告をすることでリアルタイムに全体への共有が出来たと考える。

### (4) 職員会議

各委員会、係、活動班からの報告を定例化することで失念が無いように努める。結果、先を見越した報告や相談がされるようになった。

### (5) 個別支援会議

各エリアの個別支援会議を毎月開催する。実際の動きに合わせて支援計画が適切かを話す場であり、活動班でのすり合わせも改めて出来る会議となっている。

### (6) リーダー会議

係・委員会・活動班の報告、検討事項、進捗状況等の確認を毎月行っている。その場でリーダーからの提案もあり、変更や周知を職員会議にて周知している。

### (7) 給食会議

隔月にて開催。検食簿やリアルタイムな意見を検討し、ほくと給食へ要望・提案を行った。

### (8) 研修参加

#### ①外部研修

- 6/12 接遇・マナー基礎研修 (3名)
- 7/11 福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (初任者コース) (1名)
- 8/1 福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (中堅職員コース) (1名)
- 10/12 福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (チームリーダーコース) (1名)
- 7/21 北海道知的障がい関係支援員研修 (1名)
- 8/25 施設長・管理者 権利擁護特別研修 (1名)
- 11/6 利用者研修会実施のための職員研修会 (1名)
- 12/12 幹部職員研修会 (1名)
- 権利擁護・虐待防止研修 (伝達研修) (1名)

#### ②内部研修

- 5/20 気付きについて
- 7/1 仕事をする上での連携・コミュニケーションについて
- 7/15 気道異物混入について
- 8/5 権利擁護・虐待防止研修 外部講師：菊池洋子様
- 8/16 権利擁護 (スリーロック)
- 9/16 感染症対策委員会研修
- 10/14 重度支援について
- 11/25 意思決定支援について
- 12/2 リスクマネジメントについて
- 1/27 ハラスメントについて
- 2/3 ケーススタディ
- 3/2 ケーススタディ

#### ③行動援護研修

- 職員4名参加

## 2023（令和5）年度事業報告 地域支援センターえがお (共同生活援助)

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

当年度も継続して豊かで楽しみのある生活を追い求め事業を運営してきました。入居者の声に耳を傾ける中で様々な要望が聞かれ、その言葉一つ一つを重く受け止め、選択性を重視した季節行事やホーム余暇など、余暇支援を再開してまいりました。5月よりコロナ感染症の5類引き下げにより、居宅支援事業との連携により個別支援に力を入れてまいりました。次年度におきましても、入居者並びにご家族、その他関係者から高い満足度を得られるよう質の高い事業運営を目指します。

以下、次年度に向けた課題も交えながら、事業報告といたします。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜共同生活援助＞

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1		0.4			1.0	1.0	ゆめいろ/あんり～兼務
サービス管理責任者	2	1.0		0.1		1.1	1.1	
生活支援員	9	1.0		5.8		6.8	6.8	重度、日中加配0.2含む
世話人	8	2.0		4.5		6.5	6.2	
夜間支援従事者	12			2.5		2.5	—	生活支援員/世話人兼務
看護職員	0					0		未配置

※あんり～兼務者4名（常勤換算：えがお3.2、あんりー0.8）

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜共同生活援助＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
契約者32名	1		1	2	9	14	5	32人
利用者延数	358		549	502	3,026	4,440	2,179	平均30.3

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者数

- ・MM様～令和5年12月17日より利用契約（在宅よりGHあつぷるへ転居）

#### (2) 契約解除者数

- ・KW様～令和5年7月31日にて契約終了（GHあつぷるより他事業所GHへ転居）

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 相談支援の強化

全入居者に対して明確な成果があったとはいえませんが、各担当職員が入居者の要望、意向に寄り添い面談を取り入れていくことで、入居者の多くが自身の立てた目標と向き合い、自身の役割を理解し、意欲を持って生き活きと取り組む姿を見せてくれました。達成感や自己肯定感、自己効力感の高まりも感じられ、当年度の取り組みは一定の成果があったと考察しています。次年度におきましても、入居者が要望、意向に沿って支援を提供していきます。

#### (2) 余暇支援の充実

5月よりコロナ感染症の5類引き下げにより、居宅支援事業との連携、ホーム内の季節行事等で余暇支援、健康支援の充実、拡充がありました。自己決定や選択肢の提示により、休日や退勤後の過ごし方等に幅が広がり、多くの利用者様の喜びが増えた1年となっています。

#### (3) 環境整備システムの構築

清潔な住環境整備、屋外の景観管理、利用者様の私物、衣類管理等を各GHが統一しての取り組みを実施しています。委員会より毎月リストの提示を行い、各職員が実践出来ており、徐々に成果が出てきています。次年度も継続を行っていきます。

(4) 洗練された安全管理システムの構築

安全管理委員会主導で、事故・ヒヤリハットの集計を行った後、重要なケースに関しては、GH会議内で検証を行い、経過報告を提出させている。改善策の検討で再発防止に繋がっています。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

(1) 権利擁護・虐待防止/身体拘束適正化委員会

○毎月のえがお職員会議内で実施

○当年度該当件数 0件

(2) 苦情解決委員会

○毎月のえがお職員会議内で実施

○当年度該当件数 3件

(3) 給食会議

○2カ月に1回実施

(4) 個別支援会議

○毎月ホーム単位で会議を開催。

(5) 研修参加

①外部研修(資格研修含)

○(外部) 救急法セミナー 8/30 1名

○(外部) 北海道強度行動障害支援者養成研修(実践研修) 9/12、13 1名

○(外部) 全道知的障がい関係職員研究大会 10/13 1名

○(外部) 北海道行動援護従業者養成研修 11/9、10、16、17 1名

○(外部) 防火管理者研修 12/7、8 1名

○(外部) 全道グループホーム等研修会 1/231名

○(外部) 北海道障がい者権利擁護・虐待防止研修 2/27 1名

②内部研修

○(内部) 疾病の理解、虐待防止と接遇、家事援助 5/29 3名

○(内部) 虐待防止研修 8/5 菊池洋子氏

○(内部) 誤嚥、窒息時応急処置研修 9月全職員

○(内部) 職場におけるハラスメント研修 10月、11月全職員

○(内部) 身体拘束研修 12月全職員

○(内部) 意思決定支援研修 1月～3月全職員

## 2023（令和5）年度事業報告 ゆめくる

### （生活介護・日中一時支援）

#### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

当年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、車両を使用した屋外活動やメニューはご利用者様の選択とした外食支援を提供することができております。引き続き感染対策には配慮し、人数制限や人が混雑する時間を避けての活動ではありましたが、ご利用者様の嗜好や趣味が共有できる仲間との外出はこれまで制限化の中で行ってきた活動から比べると大いに楽しんでいただけたと考えております。身近な事ではありましたが、ご利用者様個々の活動にご本人の意思が反映する支援の提供を進めてまいりました。

#### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

##### <生活介護>

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	18	11.0		3.7	0.5	15.2	15.1	2.5:1
看護職員	1			0.1		0.1		
重度支援	1				0.5	0.5	0.5	

#### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

##### <生活介護>

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者					7	21	14	42
利用者延数					1,478	5,023	3,836	平均 38.4

#### 4. 利用者の入退所状況

- (1) 新規契約者数…なし
- (2) 契約解除者数…1名（M.Y氏、1月31日契約解除）

#### 5. 具体的な取組みの成果

##### (1) 支援の柱に沿った活動提供

ご利用者様に対して、根拠ある支援を提供するために、各フロア会議や個別支援会議の機会に再アセスメントを検討、実施し、ご利用者様ひとり一人の活動を通して得られる満足度、達成感、新しい活動にチャレンジできる強み、興味関心を探るとともに、年齢や体力に即した活動内容とスケジュール設定を行うよう努めました。今後は、提供している日中の活動がこれまで以上に各ご利用者様のニーズに答えることにも重点を置き、活動に当事業所の特色が反映できるよう努めました。

##### (2) 職員のスキルアップと職員体制の充実

障がいへの理解を深め、虐待防止・権利擁護の観点等の研修を内外問わず参加・実施することで支援者の基本的な考え方を共有することを目指し、おおむね達成することはできました。しかしながら、11月後半には、不適切な支援が確認される結果となってしまいました。日常の支援の中で表出する疑問や課題をグループ討議などの場を設け、新しい支援の気づきや具体的な支援技術の伝達を積極的に支援者間で行うことができ、チームとしての支援力向上にも繋がったと感じております。

##### (3) 家族に寄り添う

コロナ禍以降、ご家族様との距離を感じつつも、個別支援計画を通してご家族の声を反映した支援を心掛けてきました。また、当年度についても満足度調査及びサービス内容・将来の暮らしに関わるアンケートを実施したことで、現在のご家族の心境を確認することができたと感じています。

満足度調査結果、アンケートを受け、今後事業所が「なに」を「どのように」運営に反映していくのか、職員に対しては内容を確認し改善する部分、評価されている点を確認し、今後の支援につながるように支援者にて再確認させていただいております。

(4) コロナウィルス感染予防と拡大を防ぐ

コロナ禍で実践してきました感染予防対策を改めて必要なものと緩和してよいものとの区切りを場面や場所によって再確認いたしました。これからも安心、安全が大優先となりますが、これまで経験してきた感染に対する経験、知識の蓄積により、「クラスター」と呼ばれた集団感染にはつながらずにはありませんでした。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

- (1) 権利擁護・虐待防止委員会 12回(1回/月)
- (2) 感染症対策委員会 3回(5月・7月・1月)
- (3) 安全管理委員会 12回(1回/月)
- (4) 職員会議 12回(1回/月)
- (5) 個別支援会議 12回(1回/月)
- (6) フロアリーダー会議 6回
- (7) 嘱託職員・非常勤職員周知会議 12回(1回/月)
- (8) フロア会議 12回(1回/月)
- (9) 研修参加

①外部研修

- 高齢者・障がい者虐待防止セミナー(道社協) 2名
- キャリアアップ研修 中堅職員コース(道社協) 1名
- 行動援護従業者養成研修 1名
- 施設・社協職員のための「伝える」技術研修(道社協) 1名
- リスクマネジメント研修(道社協) 1名
- 苦情・クレーム対応セミナー(道社協) 1名
- サービス管理責任者更新研修 1名
- 災害対策研修(道知的障がい福祉協会) 1名
- エルダーメンター制度導入支援研修(道社協) 1名
- キャリアアップ研修 チームリーダー研修(道社協) 1名
- 利用者研修会実施のための職員研修会(道知的障がい福祉協会) 2名
- サビ管基礎研修 1名

②内部研修

- 新任職員研修(R5.5.2、法人) 1名
- 身体拘束適正化研修(内部/身体拘束適正化委員会主催) 全支援者
- 中堅職員研修(R5.6.5、6.12、法人) 1名
- メンター研修(R5.6.6、法人) 1名
- サビ管交流研修会(R5.7.31、法人) 1名
- ハラスメント研修(内部) 全支援者
- 新任職員フォローアップ研修Ⅰ(R5.8.28、法人) 1名
- 中堅職員Ⅱステップアップ研修会(R5.9.25、法人) 1名
- 中堅職員Ⅰフォローアップ研修会(R5.10.30、法人) 1名
- 新任職員フォローアップ研修Ⅱ(R5.11.27、法人) 1名
- 支援技術研修(内部) 全支援者
- リスクマネジメント研修(内部/安全管理委員会主催) 全支援者
- 権利擁護・虐待防止研修(内部/権利擁護・虐待防止委員会主催) 全支援者
- 感染症対策研修(内部/感染症対策委員会主催) 全支援者



## 2023（令和5）年度事業報告 ゆめきた

（生活介護）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

当年度は、洗濯作業等これまで検討を続けていた活動を具体的に見直し、ご利用者様自身の活動の見直しについて変更も併せて実施、取組んでまいりました。職員各々が学ぶ（研鑽）といった目標に対して積極的に学習要素を取り入れながら、根拠ある支援の実践に向けて努めてきました。また意思決定支援や権利擁護虐待防止といった部分に注力し、職員全員で学ぶ・考える・実践するといったサイクルを意識し会議の議題や研修のテーマにも複数回取り入れ進めております。小規模な事業所ではありますが、全職員が協力しながら良い支援に繋がられるように話し合いながらチームとして、21名のご利用者様個々に合わせた支援を進めてまいりました。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜生活介護＞

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	11	6.0		2.6	0.5	9.1	9.0	2:1
看護職員	1			0.2		0.2	0.1	
重度支援	1				0.5	0.5	0.5	

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜生活介護（区分あり）＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31契約者					4	12	5	21
利用者延数					1,168	2,844	1,269	平均 19.6

### 4. 利用者の入退所状況

(1) 新規契約者数…0氏（4月1日付で利用開始）

(2) 契約解除者数…なし

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 安定した支援活動提供

活動提供において、委託作業の見直しを実施するとともに、社会参加を目的とした外での活動にも力を入れ事業展開を図りました。コロナ過において制限されていたレクリエーション外出なども徐々に再開し、サーカス鑑賞やカフェ利用などご利用者様の楽しみにつながるよう取り組むことができました。ご利用者様皆さんの意見を反映できるように活動提供や余暇の参加など、意見を募いご自身で選択する機会を作りながら活動を提供することでニーズに合わせて活動を展開することができました。作業種の選別、運動活動、自立課題などこれまで取り組んできたものから個別の選択肢を広げられる取り組みを実施し、一人ひとりの成長や充実を意識した活動提供をフロアごとで検討し実践することができました。

#### (2) 職員研修の機会

事業所として職員の学ぶ機会について意識して進めてまいりました。内部研修の開催は1～2か月に1回程度継続して実施したこと、また外部研修の派遣についてもパート職員含め各1回以上派遣し専門知識を身に着けるための取り組みを実施しております。また学習の部分では導入されたイーラーニングを活用し、月に1本以上の動画を全職員が視聴するなどの取り組みも業務時間内にて実施することもできました。パート職員の皆さんに対して、会議を開催することで、情報の共有化に努めました。

(3) 家族に寄り添う

ご家族様とのコミュニケーションについては個別面談を中心とし、話す機会を増やすように心がけました。半数程度がGH入居者である事、高齢化などなどの要因から、来所できない方などもありましたが、お便りの配布、電話などでの確認など情報が家庭の事情に影響されることなく、ご家族様にも行き届くように意識して進めております。また昨年に引き続き満足度調査を実施しております。その中でご利用者やご家族が求めているサービス、施設として課題となる部分を確認とご利用者の将来の展望についての確認なども行っております。満足度調査結果、アンケートを受け、今後事業所が「なに」を「どのように」運営に反映していくのか、職員に対しては内容を確認し改善する部分、評価されている点を確認し、今後の支援につながるよう支援者にて再確認させていただいております。

(4) コロナウイルス感染の予防によるサービス提供

活動提供においてコロナウイルス感染症等に対する基本的な予防対策について継続した中で活動提供はしているものの、感染症対策委員会などを通じて随時予防方法の確認、見直ししながら進めております。一部緩和する部分なども精査し解除したなかで進めていくなかでも、事業所として通年通して感染症が拡大することはありませんでした。必要な対策を講じながら安全を確保した中で活動展開することができております。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

- (1) 権利擁護・虐待防止委員会/身体拘束等適正化委員会（毎月実施）
- (2) 感染症対策委員会（三か月に1回実施）
- (3) 安全管理委員会（年4回実施）
- (4) 職員会議（毎月実施）
- (5) 個別支援会議（毎月実施）
- (6) 嘱託職員・非常勤職員周知会議（毎月実施）
- (7) 研修参加

①外部研修

- 福祉現場における感染症対策・メンタルヘルス研修・「伝える」技術向上研修・
- キャリアアップ研修（中堅）・リスクマネジメント研修・高齢者、障害者虐待セミナー
- 苦情、クレーム対応セミナー・全道施設長セミナー・権利擁護虐待防止指導者養成講座
- 発達障害児地域生活支援モデル事業研修、サービス管理責任者基礎研修
- 権利擁護、虐待防止研修・意思決定支援研修

②内部研修

- 5月 制度研修（札幌会の歩みについて DVD 人が人として生きていくために）  
（福祉ガイドを参照に制度内容を確認）
- 6月 身体拘束適正化研修  
中堅職員研修会（法人）1名
- 7月 サビ管研修会（法人）1名
- 8月 ハラスメント研修
- 9月 安全管理内部研修（リスクマネジメント）  
中堅職員Ⅱステップアップ研修会（法人）1名
- 10月 中堅職員Ⅰフォローアップ研修会（法人）1名
- 11月 支援技術研修 KJ法 グループワーク
- 1月 権利擁護・虐待防止
- 2月 感染症対策内部研修（イーラーニング）  
「ノロウイルス 流行性胃腸炎二次感染の防止」「インフルエンザの対応」
- 3月 実践報告研修 洗濯作業について

## 2023（令和5）年度事業報告 地域支援センターくれあ （共同生活援助）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

当年度は、コロナ感染ウイルス感染症が5類へ移行し、ご利用者様の余暇支援の幅がコロナ禍以前に戻るべくまた、前年度に引き続き、職員間の連携・情報の共有に重きを置いてまいりました。当事業所として長きに渡り課題となっていた、休日・夜間におけるご利用者様の急変対応がありましたが、訪問看護ステーションタ凧と各々のご利用者様が契約を結んでいただくことで、緊急時の医療体制を構築できたことは、大きな一歩となりました。事業所として初めて、満足度調査、アンケートを実施することで、ご家族様の今現在の考え、状況をくみ取ることが前進することができたのではないかと考えております。また、大きな課題である、職員間の連携・情報の共有については、LINEWORKS を新たに導入し、事業所内、ホーム間の情報共有を進め、強化を図ってまいりました。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜共同生活援助＞

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	12	1.0		7.7		8.7	8.6	
世話人	10			7.3		7.3	7.2	
看護職員	2	1.0			0.5	1.5	1.5	
重度支援	0							

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜共同生活援助＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者						16	13	29
利用者延数						5,439	4,716	平均 27.8

### 4. 利用者の入退所状況

- (1) 新規契約者数…なし
- (2) 契約解除者数…M.Y氏（1月31日付で契約解除）

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 職員間の連携と支援の統一性

職員間連携は、今年度新たに導入した LINEWORKS をはじめ、各ホーム会議にて情報共有を図り、内部・外部研修の参加の機会を設けました。また、管理者、サービス管理責任者による情報の提供や、助言及び指導にて各職員のスキルアップにつなげるよう努めております。

支援の統一性については、服薬事故が多発しており、マニュアルの確認がおろそかになることが原因となる事故が確認されています。そのため、服薬後の薬袋を SNS に送信する対策を加えマニュアルを遵守するよう助言及び指導をしております。

#### (2) 生活支援の重要性への回帰と個々の年齢や障害に応じた今後の対応を考える。

加齢による起因、障がい・疾病等の重度化により、支援度の高いケースが確認されております。各々の ADL や年齢に応じた支援を実施し、個々に必要なサポートを進めております。今年度は1名のご利用者様が疾病の重度化等によりご利用者様が、ご本人様、ご家族様の意向により契約解除となっています。年度末にはなりましたが、課題となっていた休日・夜間におけるご利用者様の急変対応について、訪問看護ステーションタ凧様との個人契約について道筋を作ることができ、安心、安全なサービス提供に一步前進できております。余暇活動については、コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、選択外出を再開しています。選択外出の他にも、季節に応じた余暇活動や選択メニューの提供等を行い充実した生活を支えるよう努めております。

当年度は初めての試みとして、満足度調査、アンケートを実施し、ご家族様の今現在の考え、状況をくみ取るよう努め、結果を職員に周知し、改善する部分、評価されている点を確認し、今後の支援につながるよう支援者にて再確認させていただいております。

(3) 人間関係への配慮と権利擁護

権利擁護・虐待防止に関する内部研修と、身体拘束適正化に関する合同研修をそれぞれ実施しております。5月には不適切対応のアンケートを実施。権利擁護・虐待防止小委員会では、毎月身体拘束適正化委員会の同時開催と、ホーム内で確認される不適切な支援などについて、話し合いの場を設けております。しかし、8月にGHアカシアにて「早すぎる夕食の提供」といった不適切な支援が確認されています。これについては、当該職員への助言及び指導はもちろんのこと、事業所内での周知を徹底し、常態化している不適切な支援がないか確認を継続しております。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

- (1) 安全衛生管理委員会（年12回実施、リスクマネジメントの内部研修を年1回実施）
- (2) 感染症対策／保健委員会（年2回実施、内部研修と訓練を年1回実施）
- (3) 権利擁護・虐待防止／身体拘束等適正化委員会委員会（年12回実施、内部研修年2回実施）
- (4) ホーム会議／個別支援会議（年12回実施）
- (5) くれあ会議（年1回実施、ケーススタディ発表会実施）
- (6) 研修参加

①外部研修

- 令和5年度全道グループホーム等スタッフ研修会（R5.2.27）1名
- 障がい者権利擁護・虐待防止研修（R5.1.24）3名
- 専門コース別研修・意思決定支援（R6.3.29）1名
- サビ管基礎研修 1名

②内部研修

- 中堅職員研修会（R5.6.5、6.12、法人）1名
- ゆめくる・ゆめきた・くれあ合同内部研修会：身体拘束適正化研修会（R5.6.27）
- サビ管交流研修会（R5.7.31、法人）1名
- 感染症対策内部研修会（R5.8月ホーム会議）
- 権利擁護・虐待防止内部研修会（R5.9月ホーム会議）
- 中堅職員Ⅱステップアップ研修会（R5.9.25、法人）1名
- ハラスメント防止研修会（R5.10月ホーム会議）
- 中堅職員Ⅰフォローアップ研修会（R5.10.30、法人）1名
- リスクマネジメント研修会（R5.10月ホーム会議）
- ゆめくる・ゆめきた・くれあ合同内部研修会：支援技術研修会（R5.10.5）

## 2023（令和5）年度事業報告 つきがた友朋の丘 （施設入所支援・生活介護・短期入所）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

コロナ感染症が5類への変更により活動域も拡がりました。スタッフの「施設内に持ち込まない」努力も高い評価です。福祉施設職員としての気概はより強固になった印象です。敷地にある桜の花見、復活した町内夏祭りへの外出参加あわせて、BBQ（焼肉レク）の試みやワッフル祭りの企画など、事業所全体で楽しみました。季節の行事も含め大切にしていきたいと考えます。

新年度、意思決定支援への取り組みをはじめ権利擁護も含めそれぞれの研鑽と、チームワークの基で鋭意努力していきます。又、BCPを精査し業務遂行力を高めて参ります。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜施設入所支援+生活介護＞

職 種	人数	常 勤		非 常 勤		常勤 換算	配置 基準	備 考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1		0.5			1.0	1.0	ほたる兼務
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	34	25	0.5	7.4		32.9	30.6	
看護職員	1	1.0				1.0	1.0	
栄養士	1	1.0				1.0	1.0	
重度支援			0.5			0.5		

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜施設入所支援＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31契約者					1	4	35	40
利用者延数					366	1,401	12,476	平均 38.9

### 4. 利用者の入退所状況

- (1) 新規契約者数 YMさん 7/3付 白石かがやき園より  
 (2) 契約解除者数 MKさん 10/30付 札幌市社会自立センターへ  
 (生活介護) KYさん 3/31付 ゆめくるへ

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 支援活動の充実

個人の生活リズムを大切にしながらの日課を提供しました。希望が反映される仕組みは今後の課題となりますが、社会参加を心掛け施設内での活動に終始することなく奥行きを持ち続けたいと思います。「そばにいること」を念頭に置いて今後も更なる充実に努めていきたいと思ひます。

#### (2) 総合的な日中活動の展開とリハビリ活動

一体的な生活介護事業として運営を開始しました。地域で暮らす方々も本体に集合してからの活動開始の仕組みを作り上げチームごとの活動に終始しました。趣味嗜好をはじめ、本人の活動に対する意見を尊重しながらの個の支援にも配慮してきました。リハビリ活動においては、町立病院理学療法士の指導の中、継続中です。身体機能の低下を防ぐ為に大切にしていきたい時間の一つです。

#### (3) 食生活からの健康管理

個別栄養マネジメントにて疾病等に対する予防管理に努めました。食べる事の「楽しみ」「満足」といったワードの大切さを心掛け給食提供を続けていきたいと思ひます。リクエストメニューの継続をはじめ季節感のある献立の提供に努めていきたいと思ひます。

#### (4) 風通しの良い環境作り

感染症が流行する中どうしても閉鎖的になりがちな傾向があったが、サービス提供時における丁寧さはもちろんですが、常にそばにいる事をテーマとして支援に従事しました。内部研修を繰り返して、スタッフ同士が情報交換を含め話し合える時間も大事にしていきたい要素になります。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

### (1) 権利擁護・虐待防止委員会

○4/27. 5/25. 6/15. 7/17. 8/17. 9/16. 10/20. 11/17. 12/22. 1/22. 2/26. 3/13

○当年該当件数 0件

### (2) 苦情解決委員会

○4/27. 5/25. 6/15. 7/17. 8/17. 9/16. 10/20. 11/17. 12/22. 1/22. 2/26. 3/13

○当年該当件数 0件

### (3) 給食会議

○4/10. 5/16. 6/6. 8/8. 10/10. 12/11. 2/5

### (4) サービス担当者会議

○4/27. 5/25. 6/15. 7/17. 8/17. 9/16. 10/20. 11/17. 12/22. 1/22. 2/26. 3/13

### (5) 研修参加

#### ①外部研修 (参加者名省略)

○北海道強度行動障がい支援者養成研修 6/6~7, 7/27~28, 3/28~29 の3回

○北海道知的障害関係支援者研修 7/21 ○全道施設長セミナー 6/29~30

○ハラスメントのリスク管理 7/13 地域福祉ネットワーク新任研修会 7/7

○食品衛生責任者実務者講習 7/25 ○災害対策研修会 9/28

○利用者研修会実施のための職員研修会 11/6 権利擁護セミナー 8/23

○障がい者虐待防止・権利擁護養成講座 8/23

○月形町社会福祉協議会地域福祉ネットワーク「スキルアップ研修」11/24

○オホーツク権利擁護研修 12/22 ○障害福祉サービス等初任者研修 3/15

○2023年度専門コース別研修・意思決定支援 3/29

#### ②内部研修

(法人) ○中堅職員研修 6/5. 6/12 ○中堅職員Ⅱステップアップ研修会 9/25

(内部)

救命救急・非常災害(停電時)の対応 6/15

感染症について(汚物処理の対応をみにつける) 7/17

障がいを持つ方の理解・困っている事の体験 8/17

ケーススタディ(女性MKさん)

虐待防止に関する伝達研修 10/20

リスクマネジメント研修 12/22

ケーススタディ(男性SEさん)、下剤の活用と排便へのアプローチ 10/16, 10/20

不適切支援について 10/16, 10/20 虐待防止に関する伝達研修 10/20

てんかんについて 12/13, 12/18

口腔ケアについて 2/16, 2/26 リスクマネジメント研修 12/22

食への配慮・喉つまりの対応 3/13, 3/19

## 2023（令和5）年度事業報告 地域支援センターほたる （共同生活援助）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

コロナの5類移行に伴い、事業所での行動範囲も少しずつですが広がってきました。スタッフの日々の検温や消毒等も含め、持ち込まない努力と専門職の気構えが大きく影響しました。町内を含めた買い物外出やデリバリーを含めた利用者方々の希望や要望を汲み取り、後期はエスコンFへの見学や誕生日外出も実現しました。新年度以降もニーズに応えるべく努力を進めて参ります。

地域性もありますが、2ヶ所のGH（1ヶ所は夜間支援体制をはずす）の統合も含め協議していく段階に入ってきています。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜共同生活援助＞

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1		0.5			1.0	1.0	友朋の丘兼務
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	4		1.1	1.7		2.8	1.9	
世話人	7		0.6		1.3	1.9	1.9	
夜間支援	6		0.2		1.0	1.2	1.2	

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜共同生活援助＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者			2	2	2	2	2	10
利用者延数			730	1,005	911	848	335	平均 10.6

（退所のKYさん含む）

### 4. 利用者の入退所状況

- (1) 新規契約者数            ありません
- (2) 契約解除者数        MKさん    在宅へ（札幌市社会自立センターへ）10/31付  
KYさん    地域支援センターくれあへ（ゆめくるへ）3/29付

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 社会参加を意識した支援の実行継続

町内に片寄らず、利用者のニーズ希望に応えた外出の機会を設けてきた。後期には誕生日外出の実施やエスコンへの見学（希望者）にも対応できました。楽しみの共有が気持ちをリフレッシュさせ次への目標や日々の活動の糧になってきています。少なくとも制限は残りますが、創意工夫の中で実践を続けていきたいと思えます。

#### (2) 風通しの良い環境作り

利用者への権利擁護、どうしても一人担当での生活支援が実情の中です。内部研修でも積極的に意見交換ができました。スタッフ間の意識の向上にも成果がみられ、次年度においても計画的な研修会の実施と外部研修への参加を求め復命とともに伝達研修も含めて実践していきます。

#### (3) バックアップ施設との連携

施設本体との連携も一昨年から比べると格段に良くなりました。生活介護事業として一体化を図り施設本体での活動開始を定める事で、スタッフ同士の人的交流機会も増えました。入所との兼務職員を多く配置したことで情報の共有化も図れました。継続的なスタッフ体制の工夫も最低限の課題となります。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

- (1) 虐待防止小委員会・身体拘束適正化委員会  
○4/26. 5/26. 6/27. 7/24. 8/22. 9/28. 10/23. 11/22. 1/19. 2/26. 3/27  
当年度該当件数 0件
- (2) 苦情解決委員会  
○4/26. 5/26. 6/27. 7/24. 8/22. 9/28. 10/23. 11/22. 1/19. 2/26. 3/27  
当年度該当件数 0件
- (3) 保健衛生委員会  
○4/26/5/26. 6/27. 7/24. 8/22. 9/28. 10/23. 11/22. 1/19. 2/26. 3/27
- (4) 給食委員会  
○4/10. 5/16. 6/6. 8/8. 10/10. 12/11. 2/5
- (5) 研修参加
  - ①外部研修（参加者名省略）
    - 全道施設長セミナー 6/29～30
    - 地域福祉ネットワーク新員研修会 7/27～28
    - 2023年度専門コース別研修・意思決定支援 3/29
  - ②内部研修
    - (法人) 中堅職員研修 6/5. 12
    - (内部) 感染対策について 7/24、  
権利擁護虐待防止について 8/21  
障がい者虐待防止のための仕組みづくり 10/23



## 2023（令和5）年度事業報告 札幌市社会自立センター （就労継続支援A型）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

札幌市社会自立センターは、前年度の状況をふまえ、支援方針の変更と会計の立て直しに着手してきました。4月より取引業者やリース契約の見直し、10月には就業規則と賃金規程を改定して稼働日の増加と労働時間の圧縮、企業との交渉を行いました。作業については、委託元企業との時間をかけた調整が必要であり、次年度も継続した課題となります。また、事業運営では、就労継続支援A型事業としての機能強化が必須であり、就労意欲の増進にむけて支援内容を再構築し始めています。未だ結果は出ていませんが、次年度も継続して取り組むこととし、令和5年度の事業報告をいたします。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

（就労継続支援A型）

職 種	人数	常 勤		非 常 勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	1	1.0				1.0	3.9	
職業指導員	9	5.0		3.6		8.6		
賃金向上達成指導員	1	1.0				1.0	1.0	

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

（就労継続支援A型）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	契約者 32
利用者延数	626	669	615	601	639	613	640	660	653	638	628	675	平均 28.7

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者数

○11/1 HW求人（生活介護事業所からの移行） 1名

○11/1 HW求人（他法人A型事業所離職者） 1名

#### (2) 契約解除者数

○11/16 他事業所（B型）移行 1名

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 運営基盤の安定化

様々な改正を進めましたが、支出の削減が先行し、新規作業の開拓など作業収入の増加に課題が残っています。既存の作業を継続しながらも新しい自主事業を実施するなど、可能な範囲で収入増を検討します。また、10月より就業規則と賃金規程を改定し給付費の最大稼働日数で営業することとしました。長年の習慣もあり、すぐには実績に結びつきませんが、継続し、事業運営の安定化を図ります。

#### (2) 建物・設備の維持管理及び環境保全

建物は札幌市が所有しているため、建物の修繕については札幌市に相談しています。1年越しとなった排水管交換工事は3月に完了しましたが、自動ドアの開閉不要については調整中となっています。しかし、修繕対象外となっている床や貸与備品を含めて内装にも老朽化が見られており、計画を立てて進めていきたいと考えています。その他、敷地内の環境整備を実施したほか、年末に床のワックスがけを行いました。

#### (3) 利用者の社会人としての意識改革

新たな支援ツールとしてSSTの導入を進めているほか、作業の合間で講習会や工場見学などにも取り組み、社会参加、就労意欲の向上を図りました。普段の挨拶や報告連絡相談が少しずつ改善されてきておりますが、図書館で働く方については委託契約の関係上、受講の時間がとりにくい状況となっています。次年度も継続しながら、更に工夫が必要となっています。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

- (1) 職員会議(月1回実施)
- (2) 図書館会議(月1回実施)
- (3) 個別支援会議(月1回実施)
- (4) 権利擁護・虐待防止委員会・苦情解決委員会(年3回以上実施)
- (5) 研修参加

### ①外部研修

- 5/11 サービス管理責任者 更新研修 1名
- 5/24～25 サービス管理責任者 実践研修 1名
- 6/5・12 中堅職員研修 1名
- 6/29～30 全道施設長セミナー 1名
- 7/13～14 全国身体障害者福祉施設会議 1名
- 7/20～21 防火管理責任者講習 1名
- 7/21 北海道知的障がい関係職員研修 1名
- 8/23 権利擁護セミナー 1名
- 8/23～24 障がい者虐待防止・権利擁護指導者研修養成講座 1名
- 8/25 施設長・管理者権利擁護特別研修 1名
- 10/2～3 J C - N E T 就労支援基礎セミナー
- 10/13 全道知的障がい関係職員研究大会 1名
- 11/6 利用者研修会実施のための職員研修会 1名
- 11/16～17 防火管理責任者講習 1名
- 12/12 幹部職員研修 1名
- 12/22 オホーツク圏域障がい者虐待防止・権利擁護研修 (web) 1名
- 1/12・18・24 札幌市障害福祉サービス事業所管理者等研修 初級コース 1名
- 1/16・25・31 札幌市障害福祉サービス事業所管理者等研修 中級コース 1名
- 2/8 就労支援部会専門研修 1名
- 2/19～20 全道施設長研修 1名
- 2/27 障がい者権利擁護・虐待防止研修(伝達研修) 1名

### ②内部研修

- 11/17 嘔吐物処理研修 8名参加
- 11/17 ハラスメント研修 8名参加
- 12/22 リスクマネジメント研修 9名参加

### ③利用者向け研修

- 9/7 工場見学(コカコーラボトリング) 3名
- 9/20 道新総合印刷本社工場 3名
- 9/28 SST研修「意思を伝える」 13名
- 11/21 SST研修「相手の気持ちを考える」 13名
- 11/24 KY(危険予知)研修 13名
- 11/30 生活費とお金のトラブルのお話 13名
- 12/9 利用者向け権利擁護研修 32名
- 12/13 仕事をする上でのマナー 19名
- 12/20 救急救命講習 19名+職員
- 12/30 GHでの生活を知る 14名
- 1/20 感染予防研修 10名
- 1/24 目標の立て方 15名

## 2023（令和5）年度事業報告 菊水ワークセンター （生活介護・就労継続支援B型）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

菊水ワークセンター生活介護の活動内容はこれまで委託作業中心だった内容から、利用者皆さんの状況に応じた活動提供を行なうということに取り組んできました。思考錯誤しながら活動を提供してきましたが、令和5年度で大きな方向性や考え方が固まってきたと感じています。就労Bについても、作業の受注量調整等を通して、職員はどのような姿勢で利用者やその活動を支援すべきか、考え方が明確になった年だと感じています。事業所として方向性を固めたことで、今後はより具体的な検討を進めることができますし、並行して利用者個々への支援を深めるための取り組みも進めていきます。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

#### <生活介護>

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1		0.5			0.5	0.5	
生活支援員	22	17.0		2.5		19.5	15.7	2.5：1体制加算
看護職員	1	1.0				1.0	1.0	
重度支援	1		0.5			0.5	0.5	サビ管兼務

#### <就労継続支援B型>

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	7	4.0		2.4		6.4	1.0	
職業指導員	6			3.6		3.6		
目標工賃達成指導員	1	1.0				1.0		

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

#### <生活介護>

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31契約者				3	12	18	9	契約者42
利用者延数				1,286	2,591	4,246	1,875	平均37.2

#### <就労継続支援B型>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	契約者42
利用者延数	912	929	884	896	925	879	917	898	952	918	850	938	平均40.5

### 4. 利用者の入退所状況

- (1) 新規契約者数
  - ・新規契約者なし。
- (2) 契約解除者数
  - ・生活介護 1名（TH氏 3/5）
  - ・就労B 3名（KS氏 12/22、NS氏 3/10、SK氏 3/15）

### 5. 具体的な取り組みの成果

#### (1) 利用者支援・日中活動の見直しと強化

生活介護では、利用者の活動充実に向けて内容の再検討を行なった。これまで利用者の表面的な希望や純粋な楽しみに焦点を当てて活動提供を行なってきたが、活動に目標や根拠を持つこと、そのために個々のアセスメントを深めることに取り組んできた。今後も検討・見直しを繰り返してい

く必要はあるが、方向性を確認できたという点を重要と捉え進めていきたい。就労Bでは、作業収入・工賃向上に向けて、日中活動の中では加工を終えられない委託作業や、利用者の携われる内容が限定的な委託作業が増えており、一部加工を支援者が行なうことが常態化していた。支援者が作業に追われることで利用者に十分目を向けられない状況にも繋がっているため、業者との調整を進め、一部受注を中止した。令和6年度に向けて工賃向上が課題となっているが、適正な活動調整であったと考えている。全体では、研修を通して利用者を支援するうえでのポイント・どのような視点で状況確認を行なうべきかという内容の研修を行なっている。この内容は、今後さらに深める内容の研修を進める予定である。

## (2) 販売の強化

カフェや菓子製造の恵まれた環境を活かすため、菓子の販売強化に取り組んでいる。結果的に高校の売店を運営する株式会社山幸との取引を開始し、4校の売店への納品を開始している。通常の納品先（元気ショップ等）と受注が重なることで、現状の最大限の加工が常に必要な状況となっている。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

### (1) 権利擁護虐待防止・身体拘束適正化委員会（小）

偶数月に小委員会を実施し、虐待や身体拘束にあたる事案の確認、対策の検討や進捗状況の確認、研修等委員会としての取り組みの検討を行なっている。奇数月は研修を行なうこととしており、事業所内の内部研修担当と共同で進めている。

### (2) 給食委員会

毎月1回開催。特別メニューの検討と、検食から出てきた課題や対策の確認を行なっている。

### (3) 安全管理委員会

事故・ヒヤリハットの再発防止に向けた取り組みとして、ヒヤリハットの対策を対象者で振り返り検討する場を設けている。

### (4) 感染症委員会

感染症の感染状況に応じて対策を検討することとしているが、複数名に感染が拡大する状況はなかった。内部研修担当と共同で嘔吐処理研修を実施。

### (5) 各定例会議

職員会議・各部門（生活介護・就労B）・生産活動会議（就労B）を月1回実施。

同様に月1回、運営会議・リーダー会議を実施。リーダー会議では各部門の検討事項や方向性の確認を行なっており、必要に応じ実施頻度を増やし、詳細や進捗を確認している。

### (6) 研修参加

#### ①外部研修

- 北海道行動援護従業者養成研修（8/22. 23. 29. 30）
- 施設長・管理者権利擁護特別研修（8/25）
- 全道知的障がい関係職員研究大会（10/13）
- 苦情システム研修会（10/16）
- 利用者研修会実施のための職員研修（11/6）
- 幹部職員研修（12/12）
- 就労支援部会専門研修（2/8）
- 障がい者権利擁護・虐待防止研修（2/27）

#### ②内部研修

- 虐待防止研修 ○中堅職員研修（接遇マナー）伝達研修 ○ハラスメント研修
- 救命救急研修 ○個別支援計画の作成について ○区分認定について
- アンガーマネジメント研修 ○嘔吐処理研修 ○誤嚥・てんかんについて
- ケーススタディ ○支援のポイントとポジショニングについて

## 2023（令和5）年度事業報告 地域支援センターのんの 短期入所りら （共同生活援助・短期入所）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

今年度もコロナ感染症の影響を受けることがありましたが、少しずつ外での活動を増やしてきました。法人理念を意識して常にやさしく丁寧な支援を心掛けてきました。意思決定支援の重要性から高齢となり次のサービスを考えたときに複数の事業所の見学を行っていただき自身の納得のいく形で行ないました。短期入所りらについては9月から徐々に再開をしております。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜共同生活援助＞

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1.0				1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
世話人	7			5.0		5.0	5.0	
生活支援員	9			5.9		5.9	5.6	
看護職員	1	1.0				1.0	1.0	
重度支援	1			0.1		0.1	0.1	
夜間支援従事者	11			1.7		1.7	1.7	

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜共同生活援助＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者					4	5	10	19
利用者延数					1,354	2,260	3,370	平均 19.1

＜短期入所＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
利用者延数						2	22	16	37	45	31	35	平均 15.6

### 4. 利用者の入退所状況

(1) 新規契約者数

なし

(2) 契約解除者数

2/6 TH氏

### 5. 具体的な取組みの成果

(1) 快適安全な生活環境の維持

共用の部分については支援者が清掃をしっかり行うことで快適な空間の維持に努めてきました。また、支援の対応については優しく丁寧な支援を心掛けてきました。

(2) 体調管理について

年々通院の頻度が高くなってきております。通院の効率化を図りタイムリーな通院を実施しています。

(3) 支援の質の向上

各種研修会及び職員会議を通して、より丁寧であり、根拠のある支援方法を確認してきています。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

### (1) 権利擁護・虐待防止委員会(該当件数0件)

年間6回～4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・1月・2月・3月

- ① 権利擁護・虐待防止委員会年間行事計画
- ② 身体拘束等の適正化推進
- ③ 職員セルフチェック集計(7月・12月実施)
- ④ 事故報告・ヒヤリハットと報告からの検証と周知
- ⑤ 障がい者福祉従事者による虐待防止類型の確認
- ⑥ 権利擁護・虐待防止研修

### (2) 苦情解決委員会

年間4回～5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・1月・2月・3月

- ① 苦情解決システムに関する規定
- ② 苦情解決責任者・受付者の確認
- ③ 苦情案件に伴う検証と周知

### (3) 感染対策委員会

年間2回～8月・1月

- ① 感染予防・対策に関すること
- ② 感染対策の具体的な取り組み
- ③ 感染症に伴う指針・BCPの更新・変更について
- ④ 感染予防や対策の研修・実施に関すること

### (4) 個別支援会議

◇5月・6月・7月・8月・9月・11月・1月・2月・3月実施

- ① 利用者20名(2月より19名)6ヵ月に1回実施
- ② アセスメント・モニタリング・個別支援原案の確認
- ③ 参加者 管理者 サビ管 生活支援員 世話人 看護師

### (5) 研修参加

#### ① 外部研修(資格研修含む)

- ・サービス管理責任者更新研修 (9/21 11/9 12/9 1/11 4名)
- ・利用者研修会実施のための職員研修会 (11/6 1名)
- ・全国グループホーム等研修会中国地区大会 (10/3 10/4 1名)
- ・全道グループホーム等 スタッフ研修会 (1/23 参加者1名)
- ・障がい者権利擁護・虐待防止伝達研修 (2/27 1名)

#### ② 内部研修

- ・権利擁護・虐待防止研修 (6/5 参加者1名)
- ・中堅職員研修 (6/19 参加者1名)
- ・異物除去研修 (7/7～ 参加者14名)
- ・ハラスメント研修 (7/27 参加者8名)
- ・身体拘束について (12/12～参加者14名)

## 2023（令和5）年度事業報告 白石かがやき園 （生活介護・就労継続支援B型）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

アフターコロナの中、制限された日中活動を戻していきたい思いがあったが、年度途中でも新たな感染者が出るなど、年度当初に思い描いたかたちよりも制限が続く状況となっており、常に感染リスクと活動内容を確認しながらの一年であった。前年度に生活介護の定員数を60名から50名に減らし60名の多機能型事業所として進めてきた。利用実績を見る中では定員減は適切であったと考えるが、令和5年度で契約解除の利用者が4名おり、今後も家庭状況の変化等で次の生活の場への移行が想定される方が数名いらっしゃるため、新規利用者の確保等も踏まえ進めていきたい。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

#### <生活介護>

職 種	人数	常 勤		非 常 勤		常勤 換算	配置 基準	備 考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1		1.0			1.0	1	
サービス管理責任者	1		0.5			0.5	1	
生活支援員	31(10)	15.3		6.6		21.9	18	0.3すてら兼務
看護職員	1	1.0				1.0	1	
重度支援	1		0.5			0.5	0.1	

#### <就労継続支援B型>

職 種	人数	常 勤		非 常 勤		常勤 換算	配置 基準	備 考
		専従	兼務	専従	兼務			
サービス管理責任者	1		1.0			1.0	1	
生活支援員	1			0.4		0.4	0.1	
職業指導員	1	1.0				1.0	1	
目標工賃達成指導員	1	1.0				1.0	1	

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

#### <生活介護>

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31契約者				2	3	16	33	54
利用者延数				530	956	3,610	7,898	平均48.1

#### <就労継続支援B型>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	契約者11
利用者延数	216	238	221	230	224	208	210	208	208	182	182	191	平均9.4

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者数

なし

#### (2) 契約解除者数

Y・S氏、Y・M氏、H・I氏、Y・K氏 計4名

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 権利擁護・虐待防止への意識を高め、「支援の質」の向上に繋げていく。

権利擁護・虐待防止については特に意識して力を入れ、関連する情報は都度ミーティング等で全体に伝え、資料の配布、研修等への参加を続けてきた。職員全体の意識も高くなってきた印象であり、雑な支援が見られた際には早い段階で指摘し合うなどの状況が見受けられた。互いに指摘し合えるような風土をつくと共に、引き続き支援の質の向上を目指したい。一方でセルフチェックでは一定の課題も挙げられており、如何に改善していくかを全体の共通認識としている。10月に逝去

されたS氏については、初動対応の至らず、「虐待」を疑われる事態となった。今回の反省を今後につなげるのは勿論のこと、普段からの利用者、ご家族との信頼関係づくりに注力したい。

(2) 利用者様個人々の「強み」を大切に活動の充実を図る。

各活動班の活動内容を充実させ、個の支援を大切にすることを課題としているが、創作活動（塗り絵や工作、貼り絵など）については各班で充実が図られ、創作した作品は事業所内に飾って来園者に見ていただけるような工夫をしている。また、アート展等作品展への出品なども大きな励みとなっており、引き続き力を入れていきたい。

(3) 利用者様の今とこれからを支援する

かがやき園も設立 30 周年を迎え、当初から利用されている方を取り巻く環境も非常に変化しており、利用場所を移行された方も数人出ている。GH、他事業所への移行なども含めて待ったなしとなっている方もおり、相談支援事業所も含め先を見据えた中での支援をしっかりとる必要がある。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

(1) 虐待防止・身体拘束適正化小委員会

毎月実施し、身体拘束事案を確認。3 要件やより適切な支援がないか確認している。緊急の場合は即座に委員会招集をした。8 から 10 月における S 氏の事案では、委員会で状況を周知確認している。回を重ねる中で対応に苦慮することや、各自の悩みなども共有できるようになった印象があり、オープンな議論を経て、会議内容を職員会議やミーティングで全体周知を図っている。

(2) 保健衛生（感染症対策）委員会

看護師と保健衛生委員会を中心に、感染症予防対策・衛生管理全般について啓発活動や研修等実施している。感染症対策 BCP については作成しているが、内容について精査が必要と考えられ、集団感染が発生した際に即座に活用できるものにしていく必要がある。

(3) 安全管理委員会

ヒヤリハット・事故報告について、毎月データを集約して職員会議にて報告、傾向と対策を確認している。年度当初ヒヤリハットの件数が非常に多く上げられているが、支援の内容を精査し、具体的な支援方法が改善される中で年度末には件数も減少傾向となっており、この点については評価できる点と考える。また、良い気づきといった部分が増えている点についても、支援者個々の目配り、気配りがあるためと考えられ、今後も小さな気づきをそのままにしない視点は大事にしていきたい。

(4) 研修参加

①外部研修

○5/26~27	相談支援従事者研修	1名
○6/8	サービス管理責任者更新研修	1名
○6/26	北海道サービス管理責任者研修	1名
○8/23~24	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	1名
○8/25	施設長・管理者権利擁護虐待防止特別研修	1名
○11/6	当事者向け虐待防止研修（ファシリテーター養成）	1名
○12/7 R5 年度	発達障がい児者地域生活支援モデル事業研修会	1名
○1/24~25	北海道サービス管理責任者実践研修	1名

②内部研修

○5/27	ハラスメント研修	
○7/15	「外出時の支援について」	
○10/14	「感染症予防研修 手洗いについて」	
○10/28	伝達研修「障がい者権利擁護・虐待防止指導者養成講座」	
○12/2	「利用者様への適切な対応・支援を考える」（ワーク）	
○12/9	リスクマネジメント研修	
○1/6	「感染症予防研修 嘔吐物処理について」	



## 2023（令和5）年度事業報告 地域支援センターすてら （共同生活援助）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外出制限を解除し、外出が徐々に増えてきました。事業所としての外出も徐々に増やし、より豊かな生活となるように努めました。8月末に利用者1名の体調不良時に適切な対応が取れず、ご家族に大きな不信感を抱かせてしまい、結果的に10月ご自宅で療養中にてんかん発作が原因で逝去されるという事案が発生しました。痛恨の極みというべき事態に対して真摯に反省して、今後の支援に反映すると共に、事業所全体で対応の確認を徹底しています。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜共同生活援助＞

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1		1.0			1.0	1.0	
サービス管理責任者	1	1.0				1.0	1.0	
生活支援員	11			5.6		5.6	5.0	かがやき園より0.3兼務
世話人	4(2)			4.2		4.2	3.3	
夜間支援員				2.2		2.2	2.0	
看護職員	1	1.0				1.0	1.0	加算算定
重度支援				0.1		0.1	0.1	加算算定

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜共同生活援助＞

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
3/31 契約者				4	4	6	6	20
利用者延数				1,100	1,343	1,914	1,837	平均 16.9

※実績については途中契約解除者も含めての計上としています。

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者

3/1 M・T様

#### (2) 契約解除者

11/30 Y・S様

12/22 K・S様

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 利用者の皆様の快適な暮らしと安全な環境

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外出制限を撤廃し希望者への外出については積極的に実施しています。事業所外出の企画も徐々に増やしてきております。各ホーム内の環境については安全に保つことはできており、環境面においては、徐々に個人が暮らしやすいよう改善されてきた部分があると考えます。

#### (2) 職員の適切な対応と丁寧な支援に向けて

職員一人一人が丁寧な支援ができるよう、伝え方や言葉の選び方などを周知しています。ご家族・ご本人へ1つの言葉がけに対する先方の受け方、文章での伝わり方など意識して支援できるようになってきていますが、常時確認を行い全体で検証を行っていく必要があります。

#### (3) 研修会の実施

年度当初より全体での実施は難しくeラーニングを活用して研修の機会を設定しています。会議等を活用し全体で学ぶ機会としていますが、グループワークなどに繋げることはできず、必要最低限といったかたちとなっております。次年度以降は係業務の運営を中心に学びの機会をしっかりと確保し支援の質を高めていけるよう継続的に取り組みます。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

### (1) 権利擁護・虐待防止小委員会（当年度該当件数 0 件）

委員会の開催についてはすてら会義にて身体拘束適正化委員会と併せるかたちで、定期的な確認を行っています。各月該当件数確認を行っています。事業所内においてご家族から虐待と疑われた事案については市に報告を行いつつ対応しています。認定には至っていませんが、いくつか改善を求められる部分があり即対応しています。坂井氏の事案発生時には検証を事業所全体で行い、対応の協議・今後事業所として改善する点などを確認しています。

### (2) 苦情解決委員会（当年度該当件数 0 件）

交信記録の入力をしっかりと行い、苦情に繋がる可能性がある部分について対応方法などを各種会議で伝える形となっています。

### (3) サービス担当者会議

各ホーム会議を中心に実施しています。人員調整の中で実施が難しい時期もありました。会議形式も変更を行いながら利用されている方の支援のポイントを確認し、次の支援へと繋がるように検討しています。

### (4) 研修参加

#### ①外部研修

- 権利擁護セミナー 8/23 1名
- 全道グループホーム等スタッフ研修会 1/23 2名

#### ②内部研修

- 虐待防止・権利擁護研修会（7/31）
- 身体拘束研修会（12/26 すてら会議にて）
- 感染症研修会（11/2 すてら会議にて）
- eラーニングを毎月会議内にて実施。

## 2023（令和5）年度事業報告 相談室あいりす （指定特定相談支援・指定一般相談支援）

### 1. 2023（令和5年）年度事業報告にあたって

当年度は管理者と相談支援戦専門員5名の6名体制でのスタートとなりました。令和6年3月末で退職予定者が早い段階で決まっていたため、採用活動にも力を入れ、1月からは一時的に7名体制での業務となっています。約3か月間の同行支援などの引継ぎが出来たことで、新人職員のみならず、利用者や家族の安心感にも繋がったと考えています。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

#### <指定特定相談支援>

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備 考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1				1	1	配置基準 兼務可
相談支援専門員	5	5				5	1	配置基準 1名以上
相談員	1	1				1	0	配置基準 無し

#### <指定一般相談支援>

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備 考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1	1				1	1	配置基準 兼務可
相談支援専門員	5	5				5	1	配置基準 1名以上
相談員	1	1				1	0	配置基準 無し

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

#### <指定特定相談支援－区分別>

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
契約者数	19	1	17	24	68	116	174	419

#### <指定特定相談支援－月別>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
本計画	54	25	23	25	36	24	31	33	30	42	43	32	398
モニタリング	97	73	115	103	79	115	91	70	101	94	71	106	1,115
合計	151	98	138	128	115	139	122	103	131	136	114	138	1,513

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者数（3名）

- ①5/23 菊水ワークセンター（生活介護）
- ②6/1 白石かがやき園（生活介護）
- ③10/26 白石かがやき園（生活介護）

#### (2) 契約解除者数（7名）

- ①4/30 友朋の丘（施設入所支援・生活介護）
- ②10/28 白石かがやき園（生活介護）
- ③10/31 白石かがやき園（生活介護）
- ④11/30 白石かがやき園（生活介護）
- ⑤2/6 菊水ワークセンター（生活介護）
- ⑥2/18 札北荘（施設入所支援・生活介護）
- ⑦3/31 外部利用者（生活介護）

## 5. 具体的な取組みの成果

- (1) 新型コロナが 5 類となり、感染症対策を意識した中で居宅介護、行動援護、短期入所、GH の体験利用など、自粛や縮小していたサービスへの利用相談が増えました。居宅介護事業所については、外部とも調整を行っていますが、ヘルパー不足を理由に断られる事も多く、十分な利用調整には繋がらない状況がありました。
- (2) 集合形式での担当者会議やケース会議が増え、関係機関との連携は年々強くなってきています。また、相談室同士の情報共有、連携して支援を行うケースも増えてきており、相談員の視野の広がり、モチベーションの向上に繋がっています。
- (3) 父母の高齢化など訪問時に気になる家庭について、関係機関との連携や成年後見制度の情報提供などを通して、親亡き後の生活について具体的に必要性を家族が感じ、司法書士などへ相談に繋ぎ、後見制度の申し立てを行うケースも少しずつ出てきています。一方で介入に拒否的な家庭については、困難な状況も多いですが、少しでも前進できるように家庭訪問を通して関係構築を図っています。

## 6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

### (1) 職員会議

毎月第 4 金曜日（午前）実施

### (2) ケース会議

毎週木曜日（午後）実施

### (3) 各種委員会

#### a. 権利擁護 虐待防止委員会 6 回

- ①6 月 23 日（養護者虐待事例検討） ②7 月 28 日（虐待防止セルフチェック実施）
- ③8 月 25 日（虐待防止セルフチェック報告） ④9 月 29 日（市社協虐待講座）
- ⑤12 月 27 日（虐待防止マニュアルについて） ⑥1 月 26 日（虐待防止チェックリスト実施）

#### b. ハラスメント防止委員会 2 回

- ①5 月 25 日（パワハラについて） ②11 月 24 日（家族からのハラスメントについて）

#### c. 保健衛生委員会 2 回

- ①7 月 29 日（感染症の対策について） ②1 月 27 日（新型コロナウイルスについて）

#### d. 防災対応委員会 2 回

- ①8 月 25 日（災害BCPについて） ②2 月 22 日（災害BCPについて）

### (4) 研修参加

#### a. 外部研修（資格研修含む）

- |          |                        |       |
|----------|------------------------|-------|
| 6 月 17 日 | 第 1 回北海道相談支援専門員協会研修会   | 1 名参加 |
| 8 月 31 日 | 札幌市成年後見センター研修会         | 1 名参加 |
| 3 月 18 日 | ワンオール主催研修「人材育成とスキルアップ」 | 1 名参加 |
|          | 相談支援従事者研修（初任者研修）       | 1 名参加 |

#### b. 内部研修

- |         |        |       |
|---------|--------|-------|
| 6 月 5 日 | 中堅職員研修 | 1 名参加 |
|---------|--------|-------|

## 2023（令和5）年度事業報告 ライフサポートあんりー （居宅介護・重度訪問介護・行動援護）

### 1. 2023（令和5）年度事業報告にあたって

令和5年度は、常勤の従業者を一名増やすとともに、これまで地域支援センターえがおの兼務職員が中心のサービスだったところを、地域支援センターうららにも2名の兼務職員を配置し事業の拡大を図っております。しかし地域支援センターうららの職員の退職が相次ぎ年度当初想定していたサービスの拡大につなげることはできませんでした。また、一昨年と比較して行動援護より居宅介護の件数が増加したことにより収入が伸び悩んだことも課題として残りました。今年度の反省と次年度以降の展望を含めて事業報告とさせていただきます。

### 2. 職員数（令和6年3月31日現在）

＜居宅介護・重度訪問介護・行動援護＞

職 種	人数	常勤		非常勤		常勤 換算	配置 基準	備考
		専従	兼務	専従	兼務			
管理者	1		0.2			1.0	1.0	ゆめいろ えがお兼務
サービス提供責任者	1		0.2			0.2	2.5	従業者兼務
従業者	5	1.0	0.8	1.2		3.0		GH非常勤兼務6名

### 3. 利用実績延人数（令和5年度実績）

＜居宅介護・重度訪問介護・行動援護＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3月契約者
居宅介護	11	30	26	29	23	33	27	38	26	35	25	26	
行動援護	30	29	36	34	43	40	48	41	38	36	33	32	
利用者延数	41	59	62	63	66	73	75	79	64	71	58	58	契約49人

### 4. 利用者の入退所状況

#### (1) 新規契約者数

21名

#### (2) 契約解除者数

なし

### 5. 具体的な取組みの成果

#### (1) 事業拡大と新規契約者の獲得

昨年度は、地域支援センターえがおの利用者を中心にサービスを提供してきましたが、今年度は地域支援センターうららにも兼務の従業者を配置し、契約者数も28名から21名増やしております。しかしながら、地域支援センターうららの職員が退職したことに伴い居宅事業への配置が難しい状態となり、想定したサービス提供の増加にはつながりませんでした。

サービス内容も重度の方が外出や余暇で使用する行動援護よりも通院が中心の居宅介護の希望が多く入ったことで収入的にも伸び悩んでおります。従業者の確保は継続した課題であるとともに地域支援センターとの連携により行動援護サービスの提供を増やすことで利用者の余暇の充実と安定した事業運営に繋がりたいと思います。

#### (2) 福祉有償運送について

前年度課題として挙げられていた福祉有償運送の再開ですが、今年度においても再開には繋げることはできませんでした。燃料費の高騰は経営に大きな影響を受けますが、事務手続きが煩雑なことを勘案すると公共の交通機関及びタクシー券の利用を推進するのが妥当と考えられます。

6. 設置された委員会・会議・研修の運営状況

(1) 権利擁護・虐待防止委員会

小委員会報告 4/17・5/22・6/26・7/24・8/28・9/25・10/23・11/27・12/25・1/29・2/26・3/25

本委員会参加 8/16・2/21

(2) 苦情解決委員会

職員会議報告 4/17・5/22・6/26・7/24・8/28・9/25・10/23・11/27・12/25・1/29・2/26・3/25

実績なし

(3) 安全管理委員会

職員会議報告 4/17・5/22・6/26・7/24・8/28・9/25・10/23・11/27・12/25・1/29・2/26・3/25

事故の実績はなし

(4) ハラスメント委員会

職員会議報告 4/17・5/22・6/26・7/24・8/28・9/25・10/23・11/27・12/25・1/29・2/26・3/25

(5) 感染症対策委員会

ゆめいろと合同開催 9/16

(6) 研修参加

① 外部研修

○ 6/ 1 コーチング研修 (山口)

○ 7/ 3 安全運転講習・危険予知トレーニング (山口・花田)

○ 8/25 施設長・管理者 権利擁護研修 (細谷)

② 内部研修

○ 8/ 5 権利擁護・虐待防止・意思決定支援研修 (山口・花田) 外部講師菊池洋子氏

○ 9/21 法制度研修 (山口)

○ 11/27 感染症対策研修・訓練 (山口・花田) 講師 三谷看護師